

矢崎総業株式会社 AI・デジタル室、「画像センシング展 2026」に出展 & 「イメージセンシングセミナー」に登壇。超高品質の画像アノテーションを提供

矢崎総業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢崎 陸、以下「当社」）はアドコム・メディア株式会社が主催する「画像センシング展 2026」（6月10日～6月12日 パシフィコ横浜）に出展します。

本展示会では、矢崎グループの中で AI・IT 技術を活用し社内外に新たな価値を生み出すために発足した組織である AI・デジタル室が、画像認識 AI 開発の現場をサポートするサービスをご紹介します。

また、6月12日（金）15:10～16:00 に、イメージセンシングセミナー「画像認識・LLM 開発の新定石：成功のカギを握る『高品質アノテーション』とデータ戦略」に登壇いたします。自動運転、製造業での異常検知、防災観点での変容検知など、高難易度・専門領域の業務の AI 自動化をお考えの PM・エンジニアの皆さまのご参加をお待ちしております。

The 40th ISS

画像センシング展2026

に出展します。

会期 2026 .6.10 水 - 6.12 金

出展内容 社員による高品質担保 豊富な実績 スピーディな開発支援

矢崎の画像アノテーション

■出展内容

本展示会では、画像解析や AI モデル運用の現場で、次のような課題をお持ちの企業に向けて、矢崎の画像アノテーションサービスをご紹介します。

- ・自動運転・衛星・インフラ・農業など、自動化が効かない画像の処理に手間がかかる
- ・他社や社内で作成した教師データに、精度のばらつきや整合性の問題がある
- ・AI モデルを開発しているが、教師データ整備のリソースが足りない
- ・図面や CAD など、現場ごとに表記ルールが異なりデータ整備が難しい

当社のブースでは、これらの課題を解決に導くため、具体的な検知対象や価格帯のご相談をお受けいたします。

<矢崎の画像アノテーションサービスの特長>

- ・矢崎の "社員" によるアノテーションで高品質を担保
- ・全量検査 + トリプルチェック体制で作業ミスを防止
- ・自動運転・衛星・インフラ・図面など高難易度案件で豊富な実績

<特にご相談が多い業界>

- ・自動車／電機／機械製造業：外観検査・ライン分析・部品検知など高精度化案件
- ・建設／インフラ領域：衛星画像や図面・現場画像の構造理解が必要な高難易度案件
- ・IT／情報通信：画像認識 AI 開発・アノテーション業務の外部化

その他、さまざまな業界・分野で「自動化が難しい」といわれた案件を矢崎の社員による高品質な画像アノテーションで解決します。

サービス紹介：<https://service.yazaki.ai/annotation>

■ 出展概要

展示会名：画像センシング展 2026

会期：2026年6月10日（水）～12日（金）10:00-17:00

会場：パシフィコ横浜：展示ホール D

小間番号：デジタルソリューションズゾーン DS-1

公式サイト：<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

来場者登録（無料・事前登録）：<https://www.adcom-media.co.jp/iss/visitorregistration/>

■ セミナー登壇概要

セミナータイトル：画像認識・LLM 開発の新定石：成功のカギを握る「高品質アノテーション」とデータ戦略

開催日時：2026年6月12日（金）15:10-16:00

セミナー会場：特設セミナールーム

参加申し込み：<https://www.tenjikai-uketsuke.com/form/iss2026/seminar/>

セミナー詳細：<https://www.adcom-media.co.jp/iss/seminar/i-361/>

こんな方におすすめ：

- ・画像アノテーションなど外部ベンダーへ委託した結果、品質のバラつきや手戻り修正作業など、かえって工数が膨らみ、本運用まで進んでいない方
- ・自動運転、製造業での異常検知、防災観点での変容検知など、高難易度・専門領域の業務を AI で自動化するにあたり、熟練者の勘・コツの言語化～高品質な教師データ作成支援が必要な方
- ・「ハルシネーション」や「誤認識」の改善に課題を抱えているプロジェクトマネージャー・エンジニアの方

<矢崎総業について>

1941年に設立。「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」を社是に掲げ、世界トップクラスのシェアを誇るワイヤーハーネス事業、自動車部品やエネルギー機器の開発・製造・販売事業を展開しています。現在は世界46の国と地域に拠点を展開。近年では電気自動車市場の成長にも貢献しています。クルマと社会と未来をつなぎ、モビリティ社会をより良くすることを目指しています。

<矢崎総業 AI・デジタル室について>

2020年に創設。矢崎グループは、モビリティデータ・工場データ・エネルギーデータ等の膨大なビッグデータを保有しています。それらを有効活用するため、社内外からAI・デジタルに知見のある人材を集めて創設されたのがAI・デジタル室です。膨大なデータを高度なAI技術で解析し、社会に役立つ新たなサービスとして提供するのがわたしたちの使命です。AI×矢崎のデータで、社会に「ソリューション」を提供します。